

平成31年 病害虫防除指導情報 第1号

作物名：りんご
病害虫名：黒星病

前年、りんごの黒星病が広い範囲で発生し、菌密度が高くなっています。菌密度を低下させるため、消雪後のできるだけ早い時期に、伝染源となる越冬落葉を除去するか、すき込み処理しましょう。

1 昨年の発生状況

前年は、6月上旬以降、津軽地域の広い範囲で発生が見られ、秋まで被害葉が摘み取り処分されずに残っている園地が散見された。また、落葉が遅く、積雪が早かったことから、落葉処理がほとんどできなかった。このような園地では、被害落葉が越冬伝染源となるため、菌密度が高いと見込まれる。



[前年秋の被害葉]

2 本年の気象条件

- (1) 本年の積雪深は、黒石では平年より多かったものの、2月後半から気温が高めに経過したため、消雪が進んでいる。
＜消雪日＞
黒石（りんご研究所） 3月20日（見込み、平年より9日早い）
五戸（県南果樹部） 3月5日（平年より16日早い）
- (2) 平成31年3月14日仙台管区气象台発表の1ヶ月予報では、向こう1か月の平均気温は、平年より高く、特に期間の始めは、気温がかなり高いと見込まれている。

3 防除対策（耕種的防除）

- (1) 越冬落葉の除去
越冬落葉をレーキや竹ぼうき等で集め、園地外へ搬出・処分する。
- (2) 越冬落葉のすき込み（中耕）
樹列の片側にある越冬落葉をレーキで樹冠下に集め、深さ5cmで1回、小型耕うん機で耕うんする。
- (3) 処理時期
下草が生育し始めると越冬落葉とからみついて処理しにくくなるので、消雪後のできるだけ早い時期に行い、黒星病の胞子飛散が始まる4月中旬までに作業を終える。

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900 担当：柳野主幹